

# 広報あじす

AJISU

## 阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 二、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 三、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 四、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 五、伝統と自然を大切にし、住みよいまちをつくります。

平成元年

9/5

№453

山口県吉敷郡阿知須町  
発行 阿知須町役場  
電話 4111番代 754-12

広報あじす 毎月5日 発行  
お知らせ版 毎月20日 発行



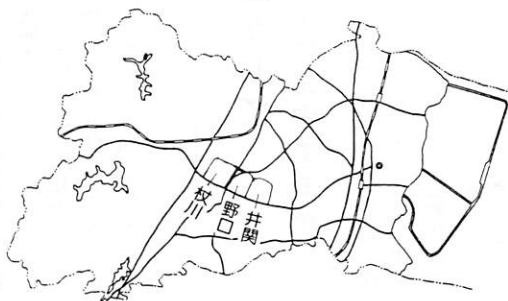
▲ただいまかんむり製作中



▲念仏踊り…ことしは杖川地区が担当



▲標高55.1mの御伊勢山



農協野口支所周辺にある井関、野口、杖川の三区は、いわば井関校区の中心地。少し入り混っているところもありますが、海側から井関、野口、杖川と並ぶ。この三区を合せて「玉川地区」と呼んでいます。なぜ「玉川」というかは記録にさだかではありません。農協支所の東側、雑木林の中に巖島神社跡があります。社殿は残っていませんが、この神社に奉納していた「念仏踊り」が地区の無形文化財として伝わっています。踊りの用具、動作などから「腰輪踊り」「闘鶏踊り」「なむもうせん踊り」などと呼ばれ、疫病除け、雨乞い、家畜の安全祈願など行ってきました。この奉納には、三区が毎年交代で受け持つっており、今年も杖川地区でした。この踊りは、小古郷の代神楽とともに阿知須に伝わる民俗芸能の代表的なもので、秋の町民文化祭などでも披露されています。

御伊勢山北側のふもとには、生長の家松陰練成道場があります。昭和四十四年に開設され、県内外の小中学生から一般の大人まで門戸を開き、二泊三日から七泊八日までに分けて心身の練成に当たっています。今年の夏休みには四百三十人が参加しました。

井関区には浄土真宗蓮光寺（宇部市厚南区）の支坊（分家）もあり、宗教的な施設や行事の多い地区といえます。

杖川地区の北側には、御伊勢山（標高五五・一メートル）があります。この名前の由来は、昔この山の付近が海であった当時、夜ごと山の八合目付近で一条の霊光が輝くので、ある人が不思議に思っ登ってみると、伊勢神宮の大森（お札）があった。そこでおみくじによって占てみると、「この山は三面海に臨み、風光絶佳である。ここに祠を建てて祀るべし」とあった。よってこの地に石祠を建てて奉祀した。これによって、御伊勢山の名が「あじす史話から」とあります。

## ふるさと® 散歩

井関校区の中心地  
「念仏踊り」を継承  
井関・野口・杖川地区  
人口471人 世帯117  
(平成元年8月末現在)

# 元気で長生きを

## 9月15日～21日老人福祉週間

九月十五日から二十一日までは、老人福祉週間です。これは、長年社会のために尽くしてこられたお年寄りを敬い、長寿を祝い、老人福祉についての関心と理解を深め、みんなで力を合わせてよりよい社会を作っていくこととするものです。

### しあわせな老後を

#### 本町の老人福祉対策

本町には現在、六十五歳以上の人が一千四百三十六人、そのうち八十歳以上の人が四百十三人もおられます。このうち「身寄りが無い」「子と別居」などの理由で、ひとり暮らししている人が九十一人、寝たきりの人が十二人おられます。

大切にされなければならぬお年寄りの中にも、核家族化が進み孤独な生活を送っている人、収入や身寄りのない人、寝たきり老人など、さまざまな生活の人がたくさんおられます。

町では、こうした人たちの不安や悩みを解消し、しあわせな老後を送ってもらおうと、いろいろな事業を実施しています。

#### ▽老人クラブ補助金

町内に二十の老人クラブが

あり、一クラブ年間五万七千



▲いつも笑顔で

### 知識と経験を生かして

#### 課題は、いかに充実するか

長くなった中高年期をどう生きるか。

六十五歳以上の人が全人口に占める割合を「老年人口比率」といいますが、日本でこれが七％から倍の一四％になる期間は二十五年で、世界に例をみないペースで進んでいます。

本町においても、老年人口比率は昭和六十年の国勢調査では一六・六％でしたが、本

六百円を補助。

#### ▽敬老年金の贈呈

町内に一年以上住んでいる八十歳以上の人に年額七千円を支給。現在該当者四百十三人。

#### ▽ねたきり老人等介護人見舞金贈呈

一年以上ねたきりの六十五歳以上の人を自宅で介護している人に、年額一万五千円を支給。



▲健康に気をつけて

#### ▽家庭奉仕員の派遣

六十五歳以上のねたきりなどで、日常生活の用をたせな



▲スポーツは健康のもと

い老人の家庭を訪問し、お世話するもの。本町の奉仕員は二人。

#### ▽老人医療公費負担

七十歳以上に、医療費の負担額を公費負担（一部自己負担）

このほか、在宅老人短期保護（ショートステイ）入浴サービス、デイサービス、老人給食サービスなどの事業。また、敬老事業として毎年九月の敬老会の実施や敬老祝い品の贈呈などを行っています。

とられるのは、自分の人生にとってマイナスです。そうして年齢による「偏見」を捨てて、これまでに身につけた知識と経験をいかに社会に生かすかを考えたいものです。

#### 通貨・証券を返還

引上げの際税関等へ預けた人

終戦後、外地から引き揚げの際、税関や海運局、総領事に通貨や証券を預けた人へ、その金品が返還されます。

本町の場合、門司税関の管轄ですが、ここでは門司、博多、仙崎で上陸した人のもを保管しています。

他の税関でも関係分を扱っていますが、問い合わせは門司税関監視部（☎〇九三三三〇三三）か門司税関宇部支署（〇八三六〇七三九一）へ。



▶よりよい老後を

# 町内長寿番付



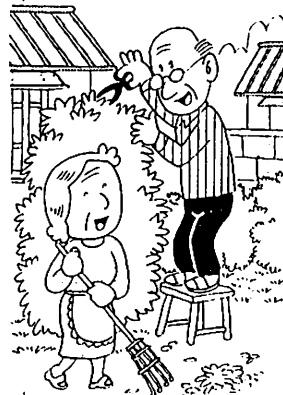
|       | 阿・知須校区           | 井関校区           |
|-------|------------------|----------------|
| 横網    | 松浦 萬治 (25年、砂三)   | 哥川 スエ (17年、河内) |
| 張出横網  | 磯崎 弥作 (27年、縄南)   | 中村 光 (25年、旦西)  |
| 大関    | 国平 サツ (28年、南祝)   | 西村 仁作 (26年、野口) |
| 張出大関  | 江口茂一兵衛 (28年、中村)  | 福田 優一 (27年、杖川) |
| 関脇    | 吉村 シノエ (29年、砂三)  | 福富 ハナ (27年、井関) |
| 張出関脇  | 縄谷 茂一郎 (29年、恵比須) | 永山 ヒノ (29年、門松) |
| 小結    | 寺田 ミツエ (29年、砂三)  | 藤田 キヨ (30年、引野) |
| 張出小結  | 縄中 惣太 (29年、小西)   | 片山 ヨシ (30年、河内) |
| 前頭筆頭  | 濱崎 作一 (29年、築地)   | 古谷 フシ (30年、赤迫) |
| 〃 二枚目 | 竹代 ハナ (29年、西条)   |                |
| 〃 三枚目 | 仲西 シモ (30年、南祝)   | (白松苑)          |
| 〃 四枚目 | 中野 直子 (30年、縄南)   | 武永 ツキ (22年)    |
| 〃 五枚目 | 吉村 タツ (30年、西条)   | 高重 ツ子 (26年)    |
| 〃 六枚目 | 金澤 ユキ (30年、南祝)   | 村田 さい (27年)    |
|       |                  | 岡村 カツノ (29年)   |
|       |                  | 東 マサ (29年)     |
|       |                  | 空野 ソヨ (29年)    |
|       |                  | 川口 ヤス (29年)    |
|       |                  | 大下 タキ (29年)    |
|       |                  | 原田 アキ (29年)    |
|       |                  | 古谷 イワ (29年)    |
|       |                  | 藤田 イシ (30年)    |
|       |                  | 仁保 セキ (30年)    |
|       |                  | 田中 シズカ (30年)   |
|       |                  | 浅原 茂 (30年)     |

(番付は年月日の順番で編成)  
( )内の生年は明治、住所

# 町内長寿夫婦

(夫婦の合計年齢 170歳以上)

|                |     |    |
|----------------|-----|----|
| 1, 濱崎 作一 (93)  | 183 | 築地 |
| ヤエ (90)        |     |    |
| 2, 武永 耕輔 (89)  | 177 | 旦東 |
| ミトメ (88)       |     |    |
| 3, 岡村 幹治 (89)  | 176 | 岩辻 |
| イシ (87)        |     |    |
| 4, 西村 哲夫 (90)  | 172 | 砂三 |
| 千代子 (82)       |     |    |
| 4, 田邊 悦雄 (88)  | 172 | 岩西 |
| 国香 (84)        |     |    |
| 6, 山路 壽雄 (85)  | 171 | 浜  |
| フミコ (86)       |     |    |
| 6, 古谷 俊一 (90)  | 171 | 引野 |
| シマ (81)        |     |    |
| 8, 塩谷 亀次 (86)  | 170 | 東  |
| タツコ (84)       |     |    |
| 8, 亀村 美代次 (88) | 170 | 浜  |
| ヤス子 (82)       |     |    |
| 8, 原田 千代治 (86) | 170 | 岩上 |
| キヌ (84)        |     |    |
| 8, 西村 計一 (90)  | 170 | 河内 |
| タカコ (80)       |     |    |
| 8, 西村 滋 (88)   | 170 | 源河 |
| 孝子 (82)        |     |    |



おんなな雨 (岡崎幸代 小西)  
 武田節 (大下貞子 岡) 男雨  
 夫婦坂 (藤本フサコ 小南)  
 波) 祝い酒 (重田政江 旦東)  
 子 砂三、中本千鶴子 東岐  
 子 砂三、中本千鶴子 東岐  
 波) 祝い酒 (重田政江 旦東)  
 夫婦坂 (藤本フサコ 小南)  
 武田節 (大下貞子 岡) 男雨  
 おんなな雨 (岡崎幸代 小西)

# 町敬老会

## 9月14日

### 式典やアトラクション

町では、今年も九月十四日に町公民館で長寿をお祝いするための敬老会を開きます。該当者は、七十五歳以上のお年寄り六百九十七人(男性二百三十人、女性四百六十七人)です。

当日は、町敬老年金証書の交付などの式典や町内有志による余興があります。出席者には弁当、欠席者には弁当と同程度度の記念品を差し上げます。

### 米寿は23人

今年米寿(八十八歳)を迎える、明治三十四年四月一日から明治三十五年三月三十一日までで生まれた人は二十三人で次のとおり。(敬称略)

| 氏名     | 生年(明治) | 住所  |
|--------|--------|-----|
| 平野 眞式  | 三四年    | 小西  |
| 高野 利太  |        | 北祝  |
| 潮中 タミ  |        | 北祝  |
| 濱崎 義雄  |        | 北祝  |
| 辻岡フサコ  |        | 北祝  |
| 田坂 一郎  | 三四年    | 中村  |
| 濱村 ヤサ  |        | 浜   |
| 伊藤 慶一  |        | 旦東  |
| 武永ミトメ  |        | 旦東  |
| 福嶋マシノ  |        | 井関  |
| 藤井 武子  |        | 河内  |
| 西村 滋   |        | 源河  |
| 片山 フサ  |        | 沖の原 |
| 友清 ツネ  |        | 沖の原 |
| 西村 ウメコ |        | 沖の原 |
| 橋本 ユラ  | 三五年    | 小南  |
| 金本ユキエ  |        | 北祝  |
| 北村ツキノ  |        | 北祝  |
| 竹本 作一  | 三五年    | 浜   |
| 岡村 イシ  |        | 岩辻  |
| 伊藤シゲノ  |        | 旦門松 |
| 藤本朝太郎  | 三五年    | 岡   |
| 芥川イツミ  |        | 引野  |

# 敬老会余興プログラム

男の舞情話 (林カツエ 砂三)  
 男の舞情話 (林カツエ 砂三)  
 舟唄 (児玉三男 東) 眞室川  
 音頭 (山田義興 岩前)  
 川中島 (劍橋本達望 小西、吟児三三男、山根次郎 縄南 書懐 劍)  
 藤本一雄 小南、吟藤 井善子 小東)  
 三味線 岸の柳 (大下貞子、岡崎幸代、下道操 宇部市東岐波) 五所の庭・軍歌 (下道操、網重和子 縄南)

# 思いやり みんなのための 交通安全

## 秋の交通安全 健民運動 9月21日 ～ 9月30日

## 役場は1階

### 総務課の巻

総務課には「総務財政係」と「町民相談係」、「交通防災係」の三係があります。その中で交通や災害などを担当しているのが、交通防災係です。今月は、高齢者の交通安全旬間（11日～20日）や秋の全国交通安全健民運動（21日～30日）が実施されます。本町の交通事故状況などはどうなっているでしょう。

#### 本町の交通事故の状況

本町の交通事故の状況をみると、去年一年間の発生件数は二十一件でした。死亡者はなく、けがをした人は二十四人（重傷二、軽傷二十二）で、そのうち六十歳以上が三人でした。

ことし一月から八月までは十八件で、けが人二十三人。このままだと、ことしは昨年を上回りそうです。

#### 町の交通対策

交通安全施設の整備や点検例えば、カーブミラーの設置などを行っています。交通安全教育も大事なことで、法令講習会や街頭指導をしたり、幼児やお年寄りに対する交通安全教育にも力を入れています。

#### 交通指導員の役割

交通安全協会阿知須支部（理事六人）が下部組織として

各地区に一人ずつ委嘱しています。毎日一日と十五日を交通安全日と定め、町内七地点で交通指導を行っています。また、春、夏、秋の交通安全健民運動期間中にも街頭で交通指導を行います。

#### 交通災害共済制度

町には、交通事故の死傷者に見舞金を払う「交通災害共済」制度があります。これは、四月から翌年三月まで一年間の掛け捨てで、掛金は年一人五百円。中学生以下

下の子どもと七十歳以上のおとしよりは一人三百円です。八月末現在の加入率は六五・六％です。途中からでも加入できますのでぜひお入りください。

#### 匿名寄付で看板塔

##### 190号線……交通安全を呼びかけ

岩倉地区の国道一九〇号線そばに交通安全を呼びかける看板塔が立っているのをご存知ですか。（写真）これは、交通事故で亡くなった人の遺族が小郡交通安全



#### 町内各所を巡回

##### 夏の防犯指導で

夏の防犯巡回指導が夏休みの期間中、四回行われました。阿知須派出所署員や防犯指導員、少年相談員、青少年育成県民会議地区委員、小中学校教員、PTA役員などが毎回十数人ずつ出て、夜八時から町内各所を巡回しました。この中でシンナーを吸った形跡も見受けられましたが、非行の現行は見受けられませんでした。

#### 戦傷病者等の妻 特別給付金

##### 請求は9月30日まで

「戦傷病者等の妻に対する特別給付金」の請求期限が今年九月三十日となっています。該当者が昭和六十一年十月一日以降、請求されていない人は、お手持ちの国債・傷病恩給等証書をもって、町住民課福祉係か県援護老人課援護叙勲係（☎〇八三九〇三一一一内線二五五〇）にご相談ください。該当者は次の条件を備えた人です。

- (1)昭和六十一年十月一日に第五款症以上の増加恩給等を受け、次のいずれかの特別給付金国債の償還を受けた人（国債の償還は終了していなくてもよいが、六十一年十月一日まで妻であることが必要。また、次のいずれかを時効失権した人も対象となる）
- 第二回（ぬ号）第六回（いりり号）第八回（ち、は号）第十一回（い号）
- (2)次のいずれかの償還を受け、夫である戦傷病者が昭和五十八年三月三十一日までに平病死された人（夫の死亡後、六十一年十月一日までに再婚等した人は該当）
- 第二回（ぬ号）第六回（い号）第十一回（い号）



(3)昭和五十四年四月二日（満州事変間の受傷は四十八年四月二日）から五十八年四月一日までに第五款症以上の増加恩給等を受けることになった

### 増えているお年寄りの交通事故 自分自身で守る心構えを

最近の交通事故の特徴は、お年寄りの事故がふえていることです。特に目立つのは、自転車に乗っていて交通事故にあう人が多く、しかも、全国的には死亡した人の約半分は六十五歳以上の人という数字がでてきます。また、二輪車の事故もふえています。

#### 地域に応じた交通安全を

交通安全母の会  
キャラバン隊来町

それでは、このような事故を防ぐためにはどのようなことに気をつけたらよいでしょうか。

気持ちのうえで若いつもりでも年齢とともに体力や運動能力が落ちてきます。反射

#### お年寄り

#### 温かく見守って 交通事故防止

昨年、全国では、交通事故による死者が一人を突破し「第二次交通戦争」の時代を迎えたといわれています。

山口県下でも例外でなく、百八十五人が交通事故で死亡されています。

このうち、お年寄りは六十八人で、実に三七%を占めています。

お年寄りは、運動神経の衰えなどから、進展を続ける「くま社会」に適應できない面



阿知須

があります。運転者や家族など周囲の人が、お年寄りの事故の特徴や身体的な特性を心得、交通事故にあわないよう、あわせまいよう温かく見守ってあげたいものです。  
阿知須派出所主任  
田中 秀穂



メッセージを伝える

そこで絶えず「危険にさらされている」「自分で自分を守らなければ」という気をもつようにしましょう。自転車に乗るにも、自分で自分を守る心構えが必要です。夜の歩きは絶対やめるようにしたいものです。

に水野清総務庁長官の「地域の実情に応じた交通安全を」というメッセージを伝えました。

このキャラバン隊は、全国七コースに分れて派遣されており、山口県内は二十六日から三十日まで活動。

メッセージ伝達のあとは、オモチャの車と卵を使って、シートベルトの着用実験や子ども用安全装置の取り扱いについて説明、出迎えた人々に交通安全の必要性を訴えました。

昭和63年中(1月~12月)の交通事故発生場所と期日



▲交通ルールの再認識を

戦傷病者の妻または、この期間内に戦傷病者と婚姻した妻(六十一年十月一日まで妻であることが必要)

#### 戦没者等遺族 特別弔慰金

請求は平成4年6月27日まで

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給制度が一部改正されました。そのため、公務扶助料や遺族年金を受けていた妻や父母等が死亡した場合、戦没者の遺族の管理を引きつづ遺族に特別弔慰金(十八万円の国債)が支給されることになりました。

これに該当するのは、昭和六十年四月一日から平成元年三月三十一日までに受給者が失権(死亡等)になった者。受けようとする者は国に請求しなければなりません。この請求期限は平成四年六月二十七日です。これを過ぎると受けられません。手続きや問い合わせは町住民課福祉係へどうぞ。

#### 9月9日は救急の日

119番は落ちついて正確に

#### 救急車を呼ぶときのポイント

- 事故の発生場所と近くの目標
- どのようなケガが病気が
- ケガ人、病気の容態(簡単に)

# 公民館だより



「ヒヤー冷たい  
(海に親しむ水泳教室)」

## 同和教育指導者養成講座 9月・11月に分けて開設

町教育委員会で平成元年年度同和教育指導者養成講座を開きます。「修了証」をまだ受けておられない方は、ふるってご参加ください。

今年度は、九月と十一月に分けて前期・後期とそれぞれ二日間ずつ、計四日間実施します。

講義内容、日程は次のとおり。

▽九月七日(木)  
「同和教育の本質」(山口市教育委員会同和教育室・江口七郎氏)

▽九月十四日(木)  
「同和教育の歴史的背景」(山口市教育委員会同和教育室・岡本稔氏)

▽十一月七日(火)  
「同和教育、解決の方向」(防府市同和教育推進委員・竹村勝美氏)

「同和教育推進委員会会長・高重等氏、副会長工藤敦氏」

時間はいずれも午後七時から九時まで。

### 作品募集

読書感想文コンクール

県立山口図書館では読書普及推進事業の一つとして読書感想文コンクールを行います。

▽応募資格 県内在住の一般人(学生を除く)

▽応募方法 字数は四百字詰原稿用紙五枚程度。未発表のもの。作品にはスライドも利用しての講義に受講生は「早速、帰ってやってみたいですのー」とのこと。

### 豆腐と酢で健康に 高齢者教室

高齢者教室(町公民館主催)は八月四日(金)に阿知須共立病院理事長 三好正之氏を招いて、夏の健康法について、の勉強をしました。

当日は、会場に入りきれないほどの受講者があり、高齢者の健康に対する関心の高さがうかがえました。

講義の内容は、「豆腐と酢の効用について」で少々、医学の専門的な話にもなりましたが、先生のユーモアあふれる語り口と



▽十一月十四日(火)  
「私たちの取組みと展望」フィルムフォーラムと班別協議(町同和教育推進委員会会長・高重等氏、副会長工藤敦氏)

時間はいずれも午後七時から九時まで。

題名・住所・氏名(ふりがな)年齢・職業・電話番号を記入のうえ、九月二十二日までに山口市大字後河原字松柄・山口県立山口図書館内「読書感想文コンクール」係(☎〇八三九〇二一一)へ。

▽課題図書 〇少女の器、灰谷健次郎著、新潮社〇人生の親戚大江健三郎著、新潮社〇ダイヤモンドダスト、南木佳士著、文芸春秋〇由熙(ユヒ)、奈良枝著、講談社〇人麻呂の暗号、藤村由加著、新潮社〇粗にして野だが

各大会の成績

▽子ども会スポーツ大会(8/6、町子連、町教委主催)  
〇ソフトバレーボールの部  
①縄田②赤浜③引野  
〇三世代ゲートボールの部  
①縄田②砂郷A③砂郷B

▽近郷ジュニアバレーボール大会(8/20、阿知須JVC、阿知須JVC育成会主催)  
〇Aクラス  
①西岐波②常盤③小野、湯田

## わたしたち スポーツ仲間

テニス同好会(軟式)

我々のクラブは、発足以来、十一年が過ぎようとしています。会の目的としては、一人ひとりの技術の向上と、地域社会との交流を深めることにあります。

活動状況としては、県主催の都市対抗戦、宇部軟庭連の春夏秋のリーグ戦および春秋のオープン戦があります。二、三年前までは、常時、決勝リーグに残ってかなりの好成績を残していましたが、最近はなかなかメン



バーが揃わず、不本意な結果に終わっております。

これまでにテニスをやられていた人、また、これから始めてみようかなと思われる人、是非、ご連絡ください。

練習日 毎週木曜日(町体育センター内)  
午後八時〜九時四十分

〇会費 無料  
〇連絡先 引藤 薫(飛石) 局 三九六八

卑ではない、城山三郎著、文芸春秋〇老いを看とる、沖藤典子著、創元社〇キサク・タマイの冒険、湯郷将和著、新人物往来

(特別賞) 小羽山、華城  
〇Bクラス  
①新田②西浦③阿知須、鶴の島(特別賞) 常盤、平川

▽近郷家庭婦人バレーボール大会(8/27、町体協主催)  
①すみれクラブ(阿知須町)  
②トータスクラブ(宇部市)  
③さつきクラブ(阿知須町) 新星クラブ(宇部市)

▽町内オープンテニス大会(8/27、町体協、町教委主催)  
〇男子A①末永・桂組②引藤・兼重組③前山・佐藤組  
〇男子B①尾崎・石田組②西村・上野組③岡田・本永組

### ☆今月の婦人学級☆

婦人学級は、九月十九日(火)午前九時半から町公民館で開きます。

講師は、岡本寿巳男先生(井関小学校校長)。講義の内容は「しつけ」。

婦人の方の多くの出席をお願いします。

# ふれあい広場

「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課(有線二一四四)へお寄せください。



阿知須小夏まつり実行委員長

秋本 英 美さん

浜

阿知須小学校PTA発足四十周年の記念事業として夏まつりを企画し、実行委員長として行動をされた秋本さんを訪ねてみました。  
夏まつりを計画された切っ掛けは「四十周年事業でなにか計画しよう」とみんなで案を出し合いしました。その中で、親と子が一緒になって楽しくできるものとして夏まつりをやろうということになったのです。それに、子どもたちにも外国へ目を向けてもらいたいということで、米軍の子どもたちを招待したわけです」  
招待をすることで気を付け



「習慣や言葉の違いがあるので最初はどうかと思いましたが、夏まつりの夜は阿知須の子どもたちとも楽しく交流できたと思います」

により何とか無事に終わることができました」  
成果はどう評価されますか  
「自己満足もありますが、みんなによかったといってもらえることが一番です。八月二十六日には、ホームステイをした米軍の子どもたちから招待があり、岩国へ交流に出かけました」  
秋本さんは、(旬)ファミリア秋本の社長。家族は、奥さんと子ども二人、おばあちゃんの五人

## インターハイで優勝

### 弓道の笹川洋子さん

八月上旬に香川県で開かれた高校総合体育大会(インターハイ)弓道の部で、宇部中央高校が見事、初優勝に輝きました。本町縄田北区の笹川洋子さん(二年)はその一員として、優勝に貢献。今後の活躍が期待されます。また、八百メートルに出場の牧野祥子さん(西京高校三年、岩西前区)は惜敗しましたが、秋の国体出場が決定しており活躍が期待されます。(このことは前月号の本紙「訪問インタビュー」で紹介)。

## 短歌

松尾 君代

かたくなに保守を選びし夫吾屋  
内に在りて小さく語りぬ

砂村 ヤス子

樹の下に口をおさへし一尺の「喜  
ぶ少女」立像のあり

亀村 ヤス子

被爆して火災の中を生きのびて  
平成元年米寿祝えり  
益弘 吾一

暑き日日出入りの庭にコスモス  
の一輪咲きて心なごめり  
中本 幸枝

煙突を出で帯状に流るけむり十  
七年を勤めし日々思ふ  
木原 百合雄

何事も無為に過せし我も今曾祖  
父さんとなりけるかも

渡辺 宮子  
独居の回轉燈籠に灯を入れて座  
すいづくよりこほろぎのなく  
藤重 幾代

汗退きて仰く道べのおうちの木  
憶良の嘆き今日は思はず  
藤重 アヤ子

夏の日の夕べとなれば幼等が線  
香花火に声はずませり  
塩見 チヨコ

## 善意はここに

◇広報送料▽徳本佳和さん(名古屋市長東区高針二丁目二五〇六番地サンリバー高針棟九〇二号)▽大谷節子さん(防府市上天神町七一五―三)  
〈町社会福祉協議会へ〉  
◇香典返し▽沖永貢さん(小古郷西)は妻富子さんの▽金井啓祐さん(赤迫)は父一良さんの▽中谷義雄さん(南祝)は父松治さんの▽藤永隆さん(浜)は母千代子さんの▽山根浩二さん(源河)は父平喜さんの▽小林梅子さん(青畑)は夫正夫さんの▽平岩稔さん(砂二)は母中村ヒサコさんの▽上野要治さん(岩辻)は妻和子さんの▽武永真佐代さん(中村)は夫典寿さんの▽水野正男さん(向井関)は母ミヨコさんの▽田中博さん(飛石)は父繁雄さん▽田村二郎さん(浜)は父敏介さんの▽江本宏雄さん(縄田南)は母キヌエさんの▽中野菊一さん(砂

## よかたなごみ

(八月二十四日受付分まで)  
出生(おすこやかに)  
子の名 続柄 親の名 月 日 住所  
上田沙織 二女 敏彦 7・7 野口  
橋本幸治 二男 敏雄 7・17 小西  
中田光兵三男 憲明 7・21 西条  
竹本拓哉 二男 浩 7・27 中村  
三隅健史 二男 広一 8・11 小南  
重富孝太 長男 省吾 8・16 南祝  
中村秋世 二女 彰臣 8・12 野口

## 死亡(ご冥福をお祈りします)

氏名 死亡日 年齢 住所  
野村 壽一 7・25 73 且門松  
北野トキエ 7・31 78 且北  
小西 和夫 8・8 49 砂三  
江本キヌエ 8・14 83 縄南  
江本ヤエコ 8・17 67 築地

「おわびと訂正」広報八月号の死亡の記事中、「田中繁」さんは「田中繁雄」さんの誤りでした。

古い写真はありませんか  
お家で眠っている古い写真は  
ありませんか。風景、人物、ス  
ポーツ、事件などでお貸しいた  
だけの写真がありましたら町企  
画課へご一報願います。

# おし らせ



## 第三回ふれあいまつり

期間は11月1日～12日

12日の催しで出店団体募集

「第三回阿知須ふれあいまつり」に参加されませんか。

阿知須ふれあいまつり実行委員会（飯田宏史委員長・町長）では、十一月一日から十二日までをふれあいまつり期間として、文化祭や芸能大会、輸入品フェア、ホームステイなどの行事を行います。また、最終日の十二日は、農・漁・商など産業関係を中心に一般町民の参加を得て、より盛大な催しとなるよう計画しています。

このため、十一月十二日出店、出品、催しなど希望される事業所、団体、グループなど募集します。

参加希望者は九月三十日まで町企画課へお申し込みください。

昨年までは十一月の第二日曜日のみを「ふれあいまつり」の日としていましたが、町内の人がより多く参加する催しとするため、十一月一日から

は同課へどうぞ。

## 世話をする人は 安心して旅行を

「寝たきり」短期預り

寝たきり老人や重度身体障害者を自宅で世話をしている人が数日間家をあけるときは短期保護制度（ショートステイ）を利用することができます。

利用料は一日一千八百九十円。申し込みは地区担当の民生委員を通じて町住民課へ。

この短期保護は、世話をしている人が冠婚葬祭や旅行などで家をあけるようになったとき、福祉施設で老人や身障者を一時預かる制度です。

従来は、その都度手続きが必要でしたが、今年度からは最初の手続きの際に、利用券

## 職業能力開発 訓練生を募集

無利子で貸し付け

交通遺児の育成資金の貸し付けは無利子です。該当者は気軽にご利用ください。

▽対象 交通遺児（幼児および小中学生）

▽貸付額 一時金十三万五千円、毎月一万六千円、小中学校入学支度金三万七千円、

▽返還期間 二十年（高校・大学など進学者は卒業まで猶予）

▽申し込み・問い合わせ 自動車事故対策センター山口支所

（☎〇八三九②五四一九）

小野田技能開発センターでは、職業能力開発訓練生（十月期生）を募集しています。

▽対象者 離職者・転職者で新たな職業に就こうとする人

▽募集科目および定員

(1)車両サービス科：二十人（一年）

(2)電気設備科：二十五人（二年）

(3)OAサービス科：二十人（半年）

▽募集期間 九月十二日まで

▽入所日 十月四日（水）

▽受講料 無料  
▽問い合わせ 小野田技能開

が交付されます。これで、その年度中は直接、その施設に行けばよいことになりました。

本町は特別養護老人ホーム「白松苑」が指定施設で、一回の利用は一週間以内です。

## 県民手帳の申し込み

9月30日までに町企画課へ

県統計協会では、来年の県民手帳の予約を受け付けています。

手帳は二種類で小型版（75×123mm）が三百八十円、大型版（84×143mm）四百円。

申し込みは区長を通じて九月三十日まで受け付けます。事業所は直接、町企画課へどうぞ。

発センター（☎〇八三六六③三三四三）

## 写真とビデオ募集

テーマは「山口の活躍する若者たち」

山口県ふるさとづくり県民会議では、「山口の活躍する若者たち」をテーマに写真とビデオを募集しています。

内容は①写真の部：サービサイズ（組写真も可）②ビデオの部：作品は十分以内で、テープ規格は自由。応募資格は制限なし。十月二日までに

県ふるさとづくり県民会議（山口千七百三三、山口市滝町一）へ。  
（☎〇八三九②六八四二）

## 町民カレンダー 9月

（役場・公民館・体育センター）

8 きり絵教室（公、後1時半）

9 近郷バドミントン大会（体、前9時）

10 健康相談（役、前9時半） 育児相談（役、後1時半）

11 貧血教室（公、前9時半）

12 敬老会（公、前9時） 三種混合（役、後1時半） 同和教育指導者養成講座（公、後7時）

13 親子読書（公、前10時）

14 婦人学級（公、前9時半）

15 貧血教室（公、前9時半）

16 心配ごと相談（社会福祉センター、前10時）

17 献血（体育センター前、前9時）

18 子宮がん検診（体、後1時半）

19 乳幼児衛生教育（役、後1時）

20 高齢者大運動会（千拓グラウンド、前9時半） 機能訓練（公、1時半）

21 秋の交通安全健民運動（21日～30日）

22 納税 国民健康保険税

23 24 25 26 27 28 29 30

メ 人の動き

住民登録（平成元年8月31日現在）  
人口…8,262人  
（男…3,829人）  
（女…4,433人）  
世帯…2,403  
昭和60年国勢調査  
（人口…8,407人）  
世帯…2,334

8月の動き

出生…5人  
死亡…3人  
転入…20人  
転出…19人